



**シラバス参照**

タイトル「**2016年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2016年度 教養科目シラバスー「21世紀」問題群**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	21世紀サイエンス論		
担当教員	<a href="#">鯨坂 恒夫</a> <a href="#">満田 成紀</a> <a href="#">大浦 由美</a> <a href="#">中串 孝志</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名（英語表記）	The 21st Century Issues : The World and Science		
授業の概要・ねらい	<p>科学・技術が私たちの社会にどう関わっているのか（関わってきたのか）、そして今後（20～200年）どう進展するのか、様々なトピックを通じて考えます。</p> <p>「科学」の語が入っているだけで「理系の話でしょ」と敬遠する学生が多いようですが、本科目は、むしろ社会や人、文化に興味のある（本来の意味での）文系学生にこそ大きく関わって欲しい科目です。</p> <p>各回にトピックを設定し、教員同士・学生同士・教員と学生との議論によって進めます（一方通行のいわゆる「講義」ではありません）。議論の行方によってはその日のテーマから離れることもあり得ます。</p> <p>科学的な面での、和歌山大学流の「教養」を探る科目でもあります。学部や立場を超えた議論が望まれます。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	Introduction	
	2	「大学」で「研究する」とは	
	3	交通・開発系：移動手段と歴史	
	4	交通・開発系：地球	
	5	交通・開発系：サイエンスのいま	
	6	交通・開発系：新天地（+小レポート）	
	7	生命系：医療	
	8	生命系：バイオテクノロジー	
	9	生命系：生命（+小レポート）	
	10	情報系：これまで	
	11	情報系：いま	
	12	情報系：これから	
	13	社会系：それでいいのか？（1）	
	14	社会系：それでいいのか？（2）（+小レポート）	
	15	総合討論（+最終レポート課題発表）	
到達目標	科学の知識ではなく、「科学的態度」を理解する。科学的なもの見方（世界観）ができるようになる。新聞等における、科学に関する報道を他人事と思わず、批判的に読み解くことができる。		
成績評価の方法	授業への参加・貢献40%+小レポート30%+最終レポート30%		
教科書	特に指定しない。		

参考書・参考文献	授業中に適宜指示する。
履修上の注意・メッセージ	一般的な「講義」ではなく、教員や学生の討論の中から自ら発見していく授業です。聞いてノートを取るだけの受動的態度では何も得られません。
履修する上で必要な事項	回を重ねるにつれて、受講生の皆さん同士の議論（グループワークなど）の度合いを高めていければと考えています。積極的な参加、発言が求められます。
受講を推奨する関連科目	「21世紀」問題群、「教養の森」ゼミナール
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。「教養の森」センターホームページ内の「ひろば」を利用した課題も場合によっては出されます。
その他連絡事項	なし。

